

(別記)

## 岩美町農業再生協議会水田フル活用ビジョン

### 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

岩美町の水田農業は、標高0mから350mの標高差の中、730haの水田で展開されている。

そのうち水稲栽培は約461haで、主力品種の「コシヒカリ」が181ha(39%)、「ひとめぼれ」が123ha(27%)で、水稲作付面積の66%を占めている。しかし、近年の夏期の高温による品質低下等を受け、夏の高温等気象の影響を受けにくく品質、食味の良い中生品種「きぬむすめ」の作付面積が増加しており、105ha(23%)を占めるようになった。その他、酒造業者との連携による醸造好適米(22ha)の栽培や、特別栽培米(減農薬・減化学肥料栽培、再生紙マルチ栽培)(42ha)等の環境負荷の少ない栽培への取組も推進している。

主食用米以外の作物では、戦略作物である飼料用米(54ha)、大豆(29ha)、WCS用稲(26ha)、政府備蓄米(17ha)の作付面積が多く、収益性の高い作物では、白ねぎ(3ha)、ハトムギ(2ha)、がそれに続いている。(数値は平成28年度)

地域が抱える問題として、農業従事者の高齢化、後継者不足が挙げられ、ほ場条件の良くない中山間地域だけでなく、比較的条件の良い平坦地でも担い手や後継者の確保が急務である。担い手の育成にあたっては、取組面積の拡大、生産性向上やコスト削減等を支援するため、農地中間管理事業の活用等により農地集積や分散錯圃の解消を推進していくことが必要である。また水田の多くは湿田であるため、畑作物の作付けが進んでおらず、今後も、非主食用米等、湿田でも安定的に栽培できる品目を中心に推進していくことが必要である

### 2 作物ごとの取組方針

#### (1) 主食用米

- 夏の高温等気象の影響を受けにくく品質、食味の良い中生品種「きぬむすめ」の作付拡大を進め、作柄向上と販売強化による所得向上を図る。
- 有機JAS認定や鳥取県特別栽培農産物認証、JA特裁等の付加価値をつけた米づくりを推進する。これらについては、地元直売所や給食に加え、地元観光協会、ふるさと納税の記念品としても需要は増大しており、今後も更に流通・販売ルートを確認し、販売拡大、地産地消の取組を推進していく。
- トレーサビリティ(生産履歴追跡システム)の取組による安全・安心な米を供給する。

#### (2) 非主食用米

- 町内水田の多くは湿田であり、畑作物の作付拡大は困難な状況にある。また、主食用米需要量の減少傾向は、今後も続くと予想されることから、非主食用米を転作作物の中心的作物として位置付け、増反・増産の取組を推進する。

#### ア 飼料用米

- 多収品種の導入及び担い手への集積を支援し、規模拡大を図る。供給先としては県外を含めた販売ルートが開拓されており、水田における作付転換を進める。

#### イ WCS用稲

- 自給飼料確保と耕種農家の水田の有効活用を図るため、耕畜連携による資源循環の取組を推

進する。

- 輸入飼料価格の高騰に対応し、耐倒伏性が高く収量が確保できる品種の作付推進と肥培管理の徹底により、現在確立されている販売先への安定供給を図るため、団地化による低コスト生産や生産性向上の取組を推進する。

#### ウ 備蓄米

- 主食用米と同じ機械、設備、資材等で取組ができることから、現状の割当数量を確保し、地域の実情に応じた安定した品質・収量が見込める品種での取組を推進し、水田の保全管理を向上させる。

### (3) 麦、大豆、飼料作物

#### ア 麦

- 二毛作として水田の効率的な利用が可能な土地利用型作物の重要な品目である。実需者との契約により供給ができる品目であるため、団地化、担い手への集積等を積極的に推進し、低コスト生産や生産性の向上を図り、作付面積の拡大を推進する。

#### イ 大豆

- 転作作物として水田の効率的な利用が可能な土地利用型作物の重要な品目であるが、天候により毎年の収量、品質が不安定になりやすい。ブロックローテーションや積極的な担い手への集積等による団地での取組を推進し、低コスト生産、生産性の向上や適正な肥培管理により安定的な収量、品質の確保を図り、作付面積の拡大を推進する。

#### ウ 飼料作物

- 畜産農家による自家利用生産であるが、今後も、畜産農家の増加は見込めず横ばいで推移するものと思われるため、現行の作付面積を維持し、安定的な収量、品質の確保を図る。

### (4) そば

- 地域の実需者との契約により供給ができる品目であり、地産地消の取組推進や耕作放棄地の解消に向けて作付面積の拡大を図る。

### (5) 野菜等

#### ア 白ねぎ

- 町の重点振興作物として位置付け推進する。白ねぎについては、JAの白ねぎ倍増プランの策定により、鳥取県東部一円の関係機関、JA等の生産者団体が一体となって作付推進しており、本協議会においても同プランに沿って生産者の確保や取組面積の拡大等に努め、産地化の取組を推進する。

#### イ ハトムギ

- JAとの契約栽培により更なる需要増が見込めることから、生産者の確保や取組面積の拡大等に努め、産地化の取組を推進する。

#### ウ ブロccoli、アスパラガス、小豆

- 町の振興作物として位置付け、町全体が一体となって生産拡大、品質向上に努め、産地化の取組を推進する。主にいわみ道の駅等を通じて販売する。

#### エ さといも、こんにゃく、マコモタケ

- 地区振興作物とし、地区ごとに作付面積の拡大、品質の向上を図り、地産地消、産地化の取組を推進する。主にいわみ道の駅等を通じて販売する。

#### オ その他一般作物

- いわみ道の駅内の農産物直売所の販売拡大、地産地消を推進するため、「少量多品目栽培」の参画農家拡大に向けた生産体制づくりに努める。また、JAでも推進している小型パイプハウスリース事業等を活用した作物づくりを推進し、年間をとおした農業所得の確保に努める。

○作付推進に当たっては、退職者等を対象とした栽培研修会を開催する等、営農指導の強化を図る。

### (6) 地力増進作物、景観形成作物

○地力増進作物、景観形成作物の作付けにより、荒廃農地発生抑制、地域農地の景観保全を図り、将来、作物の作付けが可能な状態を維持する。

### (7) 不作付地の解消

○農家の高齢化による離農や、鳥獣被害の拡大が不作付地発生の要因となっている。地力増進作物等の作付けにより不作付地の発生を防止し、将来的にはそば等の作付けに取組み、3年後には3haの解消を目指す。

## 3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 28 年度の作付面積 (ha)	平成 29 年度の作付予定面積 (ha)	平成 30 年度の目標作付面積 (ha)
主食用米	460.6	456.2	448.0
飼料用米	54.2	57.3	55.0
WCS用稲	26.4	26.5	26.5
備蓄米	16.8	15.3	20.0
麦	2.0	0.8	3.0
大豆	28.7	28.0	36.0
飼料作物	0.4	0.3	0.4
そば	0.6	1.5	1.0
その他地域振興作物	63.5	59.9	70.4
野菜等	41.7	43.7	54.8
・白ねぎ	3.5	3.6	5.5
・ハトムギ	2.0	2.5	3.5
・アスパラガス	0.7	0.6	1.0
・ブロッコリー	0.2	0.4	1.0
・小豆	2.9	2.4	4.5
・さといも	0.6	0.8	3.0
・こんにゃく	0.1	0.1	0.3
・マコモタケ	0.7	0.8	1.0
・その他一般作物	31.0	32.5	35.0
地力増進作物	21.6	16.1	15.5
景観形成作物	0.2	0.1	0.1
合 計	653.2	645.8	660.3

#### 4 平成 29 年度に向けた取組及び目標

取組 番号	対象作物	取組	分類 ※	指標	平成 28 年度 (現状値)	平成 29 年度 (目標値)
1	白ねぎ	作付面積の拡大	ア	作付面積	3. 5	3. 6
2	ハトムギ	担い手の取組拡大	イ	作付面積	1. 0	2. 5
3	ハトムギ	作付面積の拡大	ア	作付面積	1. 0	1. 0
4	大豆	1 h a 以上取組む 担い手による作付 面積の拡大	イ	作付面積	2 2. 4	2 2. 5
5	飼料用米	1 h a 以上取組む 担い手による作付 面積の拡大	イ	作付面積	4 8. 8	4 9. 1
6	WCS用稲	耕畜連携 (資源循環)	イ	作付面積	2 6. 4	2 6. 5
7	麦(二毛作)	二毛作	ア	作付面積	2. 0	2. 0
					( )	( )
					( )	( )

※「分類」欄については、実施要綱別紙 15 の 2 (6) のア、イ、ウのいずれに該当するか記入してください。  
(複数該当する場合には、ア、イ、ウのうち主たる取組に該当するものをいずれか 1 つ記入してください。)

- ア 農業・農村の所得増加につながる作物生産の取組
- イ 生産性向上等、低コスト化に取り組む作物生産の取組
- ウ 地域特産品等、ニーズの高い製品の産地化を図るための取組を行いながら付加価値の高い作物を生産する取組

※平成 30 年度以降の目標値を設定している場合は、「平成 29 年度 (目標値)」欄の右に欄を設け、目標年度及び目標値を記載してください。

※現状値及び目標値が単収、数量等面積以外の場合、( ) 内に数値を設定する根拠となった面積を記載してください。

#### 5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

産地交付金の活用方法の明細

1. 地域農業再生協議会名

岩美町農業再生協議会

2. 活用予定額の総括表

(単位:円)

協議会等名	配分枠 (A+B+C)								活用予定額 (a+b+c)					
	産地戦略枠 (A=F+H)	従来枠 (B=G+I)	追加配分枠 (C)	(内 訳)						産地戦略枠 (a)	従来枠 (b)	追加配分枠 (c)		
				1回目の配分 (D=F+G)			2回目の配分 (E=H+I)							
				産地戦略枠 (F)	従来枠 (G)	追加配分枠 (D)	産地戦略枠 (H)	従来枠 (I)	追加配分枠 (E)					
岩美町農業再生協議会	10,344,000	7,484,000	2,860,000		10,344,000	7,484,000	2,860,000	0			10,343,760	7,483,840	2,859,920	

(注)2回目の配分、追加配分枠が未定の段階にあっては、該当箇所を空欄により作成することとします。

3. 活用方法

(1)－①産地戦略枠分の活用分

配分枠

7484000

前年度との比較 ※1	整理番号	用途 ※2	取組番号 ※3	分類 ※4	作期等 ※5	単価① (円/10a) ※6	面積 (a単位)													合計 ② ※8	所要額 ①×② (円)				
							戦略作物							そば	なたね	野菜	花き・花木	果樹	雑穀			地力増進	景観形成	備蓄米	その他
							麦	大豆	飼料作物	米粉用米	飼料用米	WCS用稲	加工用米												
同	1	重点振興作物助成①	1	7	1	24,000															356	854,400			
同	2-1	重点振興作物助成②	2	1	1	24,800															251	622,480			
同	2-2	重点振興作物助成②	3	7	1	23,200															3	6,960			
同	3	担い手栽培加算助成	4,5	1	1	4,400		2,254			4,906										7,160	3,150,400			
新	4	耕畜連携助成(資源循環)	6	1	3	10,400					2,650										2,650	2,756,000			
新	5	麦二毛作助成	7	7	2	12,000	78														78	93,600			
合計(基幹)※7						実面積		2,254			4,906	2,650									10,420	③ ※9 7,483,840			
合計(二毛作)※7						実面積	78														78				

※1 「前年度との比較」は、新規の場合は「新」、前年度から継続で一部変更した場合は「変」、前年度と同じ設定の場合は「同」を記入してください。

※2 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。  
ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※3 「取組番号」は、水田フル活用ビジョン4の表の取組に該当する取組番号を記入してください。

※4 「分類」欄については、実施要綱別紙15の2(6)のA、イ、ウのいずれに該当するか記入してください。

※5 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※6 2回目配分を受けた場合に初めて単価を設定する用途については、当初段階のビジョンの「単価」は、0と記入してください。

※7 「合計(基幹)の実面積」は、基幹作を対象とした設定の実面積を記入し、「合計(二毛作)の実面積」は、二毛作を対象とした設定の実面積を記入してください。

※8 ②の合計は、各用途の合計面積を記入してください。

※9 所要額欄の二重枠には、所要額の合計を記入してください。

(注)用途ごとに「産地交付金の活用方法の明細(個票)」を添付してください。

(1)－②従来枠の活用分

配分枠

2,860,000

前年度との比較 ※1	整理番号	用途 ※2	取組番号 ※3	作期等 ※4	単価④ (円/10a) ※5	面積 (a単位)														合計 ⑤ ※7	所要額 ④×⑤ (円)		
						戦略作物						そば	なたね	野菜	花き・花木	果樹	雑穀	地力増進	景観形成			備蓄米	その他
						麦	大豆	飼料作物	米粉用米	飼料用米	WCS用稲												
同	6	振興作物助成		1	16,000									93			156					249	398,400
同	7	地区振興作物助成		1	16,000									163								163	260,800
同	8	一般作物助成		1	8,800									1,352	47							1,399	1,231,120
同	9	地力増進、景観形成作物助成		1	6,000											1,606	10					1,616	969,600
合計(基幹)※6					実面積									1,608	47		156	1,606	10			3,427	⑥ ※8 2,859,920
合計(二毛作)※6					実面積																		

※1 「前年度との比較」は、新規の場合は「新」、前年度から継続で一部変更した場合は「変」、前年度と同じ設定の場合は「同」を記入してください。

※2 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※3 「取組番号」は、水田フル活用ビジョン4の表の取組に該当する取組番号を記入してください(該当しない場合の記入は不要です)。

※4 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※5 2回目配分を受けた場合に初めて単価を設定する用途については、当初段階のビジョンの「単価」は、0と記入してください。

※6 「合計(基幹)の実面積」は、基幹作を対象とした設定の実面積を記入し、「合計(二毛作)の実面積」は、二毛作を対象とした設定の実面積を記入してください。

※7 ⑤の合計は、各用途の合計面積を記入してください。

※8 所要額欄の二重枠には、所要額の合計を記入してください。

(注)用途ごとに「産地交付金の活用方法の明細(個票)」を添付してください。

(2)追加配分枠の活用分

配分枠

円

前年度との比較※1	整理番号	取組の種類※2	使途※3	取組番号※4	作期等※5	単価⑦ (円/10a) ※6	面積 (a単位)※6													合計 ⑧ ※8	所要額 ⑦×⑧ (円)					
							戦略作物							そば	なたね	野菜	花き・花木	果樹	雑穀			地力増進	景観形成	備蓄米	その他	
							麦	大豆	飼料作物	米粉用米	飼料用米	WCS用稲	加工用米													
同	10	ア	多収品種助成		1	12,000																				
同	11	ウ	備蓄米助成		1	7,500																				
同	12	エ	そば作付取組助成(基幹作)		1	20,000																				
合計(基幹)※7						実面積																				
合計(二毛作)※7						実面積																				⑨ ※9

- ※1 「前年度との比較」は、新規の場合は「新」、前年度から継続で一部変更した場合は「変」、前年度と同じ設定の場合は「同」を記入してください。
  - ※2 「取組の種類」には、いずれの取組等に係る追加配分枠を充てるのか、以下のア～オのいずれかを記入してください。  
「ア」多収品種の導入への取組 「イ」加工用米の複数年契約の取組 「ウ」備蓄米の取組 「エ」そば、なたね(基幹作)の作付け  
「オ」主食用米作付面積が生産数量目標の面積換算値を下回ることとなる都道府県に対して、当該生産数量目標の面積換算値より下回った面積に応じた配分
  - ※3 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。  
ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。  
なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。
  - ※4 「取組番号」は、水田フル活用ビジョン4の表の取組に該当する取組番号を記入してください(該当しない場合の記入は不要です)。
  - ※5 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
  - ※6 「面積」は、追加配分が未定の段階にあっては、空欄としてください。
  - ※7 「合計(基幹)の実面積」は、基幹作を対象とした設定の実面積を記入し、「合計(二毛作)の実面積」は、二毛作を対象とした設定の実面積を記入してください。
  - ※8 ⑧の合計は、各使途の合計面積を記入してください。
  - ※9 所要額欄の二重枠には、所要額の合計を記入してください。
- (注)使途ごとに「産地交付金の活用方法の明細(個票)」を添付してください。

(3)水田における交付対象面積計 (a単位)

	実面積※2	戦略作物							そば	なたね	野菜	花き・花木	果樹	雑穀	地力増進	景観形成	備蓄米	その他	合計	
		麦	大豆	飼料作物	米粉用米	飼料用米	WCS用稲	加工用米												
合計(基幹)※1	実面積※2		2,254			4,906	2,650				1,964	47		410	1,606	10				13,847
合計(二毛作)※1	実面積※2	78																		78

- ※1 「合計(基幹)」は、基幹作を対象とした設定の実面積を記入し、「合計(二毛作)」は、二毛作を対象とした設定の実面積を記入してください。
- ※2 2回目の配分及び追加配分枠が未定の段階にあっては、1回目配分での設定の実面積を記入してください。



#### 4. 2回目の配分を受けた場合の調整方法

個票の参考となる単価を上限に一律に充当する。

#### 5. 主食用米作付面積が生産数量目標の面積換算値を下回った面積に相当する追加配分を受けた場合の調整方法

配分は受けない。

今年も配分されないという理解です。

#### 6. 所要額が配分枠を超過した場合の調整方法

- (1) 産地戦略枠、従来枠、追加配分枠、それぞれについて、活用予定額に収まるよう、次の単価調整係数を乗じて交付単価を一律減額する。  
単価調整係数＝活用予定額／(使途ごとの対象面積×交付単価)の合計  
単価調整係数は小数点第4位以下切り捨てとする。
- (2) 従来枠に残額が発生し、産地戦略枠が活用予定額を超過する場合は、残額を産地戦略枠に充当した上で、(1)に準じて一律減額する。
- (3) 産地戦略枠に残額が発生し、従来枠が活用予定額を超過する場合は、従来枠配分額を上限に、残額を従来枠に充当することとし、(1)に準じて一律減額する。
- (4) 追加配分枠に残額が発生し、産地戦略枠、従来枠が活用予定額を超過する場合は、残額を産地戦略枠、従来枠の順に充当し、枠ごとに(1)に準じて一律減額する。

新規		前年度継続(変更あり)		前年度継続	○	助成開始年度	H27
----	--	-------------	--	-------	---	--------	-----

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	岩美町農業再生協議会	整理番号	1
活用枠※1	<input checked="" type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input type="checkbox"/> 従来枠 <input type="checkbox"/> 追加配分枠	分類※2	<input checked="" type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ
用途	重点振興作物助成①		
対象作物	白ねぎ(基幹作)		
単価	24,000 円/10a (上限: 30,000 円/10a)	参考となる単価※3	30,000 円/10a
内容	対象作物を作付し、出荷・販売する農家等に、作付面積に応じて助成する。		
具体的要件	<input type="checkbox"/> 助成対象者 対象作物を作付し、出荷・販売する農家等 <input type="checkbox"/> 助成対象水田 共通事項のとおり <input type="checkbox"/> 助成対象作物 白ねぎ(基幹作) <input type="checkbox"/> その他要件 ・ 販売すること <input type="checkbox"/> ・ 1圃場につき1回の助成		
確認方法	<input type="checkbox"/> 助成対象者 共通事項のとおり <input type="checkbox"/> 助成対象水田 共通事項のとおり <input type="checkbox"/> 助成対象作物 共通事項のとおり <input type="checkbox"/> その他要件 販売伝票等による		
備考			

※1 「活用枠」欄は該当する項目の口に  (チェック) を付けてください。

※2 「分類」は、産地戦略枠を活用する場合、実施要綱別紙15の2(6)のア、イ、ウのいずれに該当するか口に  (チェック) を付けてください。

※3 「参考となる単価」は、単価を設定する上で参考とした前年度単価又は前々年度単価のいずれかを記載してください。

新規		前年度継続(変更あり)		前年度継続	○	助成開始年度	H27
----	--	-------------	--	-------	---	--------	-----

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	岩美町農業再生協議会		整理番号	2-1、2-2			
活用枠※1	<input checked="" type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input type="checkbox"/> 従来枠 <input type="checkbox"/> 追加配分枠			分類※2	<input checked="" type="checkbox"/> ア <input checked="" type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ		
使途	重点振興作物助成②						
対象作物	ハトムギ(基幹作)						
単価	2-1 24,800 円/10a (上限: 31,000 円/10a)	2-2 23,200 円/10a (上限: 29,000 円/10a)	参考となる単価※3	2-1 31,000 円/10a	2-2 29,000 円/11a		
内容	対象作物を作付し、出荷・販売する農家等に、作付面積に応じて助成する。						
具体的要件	<p>○ 助成対象者 対象作物を作付し、出荷・販売する農家等のうち、</p> <p>2-1 平成29年 岩美町水田農業ビジョンに掲載されている担い手 (農地中間管理機構から農地を借り受けている農業者、認定農業者、認定新規就農者、集落営農又は人・農地プランに位置付けられた地域の中心経営体、以下「岩美町の担い手」)</p> <p>2-2 2-1以外の農家等</p> <p>○ 助成対象水田 共通事項のとおり</p> <p>○ 助成対象作物 ハトムギ(基幹作)</p> <p>○ その他要件 ・販売すること ・1圃場につき1回の助成</p>						
確認方法	<p>○ 助成対象者 2-1 水田農業ビジョンの担い手リスト 2-2 共通事項のとおり</p> <p>○ 助成対象水田 共通事項のとおり</p> <p>○ 助成対象作物 共通事項のとおり</p> <p>○ その他要件 販売伝票等による</p>						
備考							

※1 「活用枠」欄は該当する項目の□に ✓ (チェック) を付けてください。

※2 「分類」は、産地戦略枠を活用する場合、実施要綱別紙15の2 (6) のア、イ、ウのいずれに該当するか□に ✓ (チェック) を付けてください。

※3 「参考となる単価」は、単価を設定する上で参考とした前年度単価又は前々年度単価のいずれかを記載してください。

新規		前年度継続(変更あり)		前年度継続	○	助成開始年度	H27
----	--	-------------	--	-------	---	--------	-----

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	岩美町農業再生協議会	整理番号	3
活用枠※1	<input checked="" type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input type="checkbox"/> 従来枠 <input type="checkbox"/> 追加配分枠	分類※2	<input type="checkbox"/> ア <input checked="" type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ
使途	担い手栽培加算助成		
対象作物	大豆・飼料用米(基幹作)		
単価	4,400 円/10a (上限: 5,500 円/10a)	参考となる単価※3	5,500 円/10a
内容	対象作物を作付し、出荷・販売する担い手に、作付面積に応じて助成する。		
具体的要件	<input type="checkbox"/> 助成対象者 対象作物を作付し、出荷・販売する岩美町の担い手 <input type="checkbox"/> 助成対象水田 共通事項のとおり <input type="checkbox"/> 助成対象作物 大豆、飼料用米(基幹作) <input type="checkbox"/> その他要件 <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象作物をそれぞれ1ha以上作付していること</li> <li>・販売すること</li> <li>・1圃場につき1回の助成</li> </ul>		
確認方法	<input type="checkbox"/> 助成対象者 水田農業ビジョンの担い手リスト <input type="checkbox"/> 助成対象水田 共通事項のとおり <input type="checkbox"/> 助成対象作物 共通事項のとおり <input type="checkbox"/> その他要件 販売伝票等による		
備考			

※1 「活用枠」欄は該当する項目の口に ✓ (チェック) を付けてください。

※2 「分類」は、産地戦略枠を活用する場合、実施要綱別紙15の2 (6) のア、イ、ウのいずれに該当するか口に ✓ (チェック) を付けてください。

※3 「参考となる単価」は、単価を設定する上で参考とした前年度単価又は前々年度単価のいずれかを記載してください。

新規	○	前年度継続(変更あり)		前年度継続		助成開始年度	H29
----	---	-------------	--	-------	--	--------	-----

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	岩美町農業再生協議会	整理番号	4
活用枠※1	<input checked="" type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input type="checkbox"/> 従来枠 <input type="checkbox"/> 追加配分枠	分類※2	<input type="checkbox"/> ア <input checked="" type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ
使途	耕畜連携助成(資源循環)		
対象作物	WCS用稲(基幹作)		
単価	10,400 円/10a (上限: 13,000 円/10a)	参考となる単価※3	13,000 円/10a
内容	堆肥施用による肥料低減及び土づくりによる生産性向上を図るため、耕畜連携(資源循環)の取組を支援する。		
具体的要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 助成対象者 対象作物を作付し、出荷・販売する農家等</li> <li>○ 助成対象水田 共通事項のとおり</li> <li>○ 助成対象作物 WCS用稲(基幹作)</li> <li>○ その他要件 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耕畜連携の取組を行う者が、連携の相手方と3年以上の期間で「利用供給協定」を締結すること (利用供給協定に含まれるべき事項は別表1のとおり)</li> <li>・ 自家利用の場合は、自家利用計画を策定すること</li> <li>・ 当該年度における堆肥の散布の取組であること</li> <li>・ 散布される堆肥が、利用供給協定に基づき水田で生産されたWCS用稲の供給を受ける家畜の排せつ物から生産されたものであること</li> <li>・ 堆肥を散布する者は、水田で生産された粗飼料作物等の供給を受けた家畜の所有者又はその者の委託を受けた者(飼料生産水田への堆肥散布の取組の交付対象者を除く)であること</li> <li>・ 同一年度において他に水田への堆肥散布への取組による助成を受けない水田であること</li> <li>・ 原則、堆肥の散布量が10a当たりで2t又は4m<sup>3</sup>以上であること</li> </ul> </li> </ul>		
確認方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 助成対象者 共通事項のとおり</li> <li>○ 助成対象水田 共通事項のとおり</li> <li>○ 助成対象作物 共通事項のとおり</li> <li>○ その他要件 利用供給協定又は自家利用計画等により確認</li> </ul>		
備考			

※1 「活用枠」欄は該当する項目の口に ✓ (チェック) を付けてください。

※2 「分類」は、産地戦略枠を活用する場合、実施要綱別紙15の2(6)のア、イ、ウのいずれに該当するか口に ✓ (チェック) を付けてください。

※3 「参考となる単価」は、単価を設定する上で参考とした前年度単価又は前々年度単価のいずれかを記載してください。

新規	○	前年度継続(変更あり)		前年度継続		助成開始年度	H29
----	---	-------------	--	-------	--	--------	-----

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	岩美町農業再生協議会		整理番号	5	
活用枠※1	<input checked="" type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input type="checkbox"/> 従来枠 <input type="checkbox"/> 追加配分枠		分類※2	<input checked="" type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ	
使途	麦二毛作助成				
対象作物	麦(二毛作)				
単価	12,000 円/10a (上限: 15,000 円/10a)		参考となる単価※3	15,000 円/10a	
内容	麦について二毛作の作付け、出荷・販売する農業者等に対して、作付面積に応じて助成する。				
具体的要件	<input type="checkbox"/> 助成対象者 対象作物を作付し、出荷・販売する農家等 <input type="checkbox"/> 助成対象水田 共通事項のとおり <input type="checkbox"/> 助成対象作物 麦(二毛作) <input type="checkbox"/> その他要件 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主食用米、戦略作物及びそばと対象作物との組合せによる二毛作であること</li> <li>・ 通常の収穫を上げるのに必要な栽植密度があり、通常の肥培管理を行っていること</li> <li>・ 農協等との出荷契約又は実需者等との販売契約を締結していること</li> <li>・ 自家加工販売や直売所で販売を予定する場合は、自家加工販売計画書兼出荷・販売報告書を提出すること</li> </ul>				
確認方法	<input type="checkbox"/> 助成対象者 共通事項のとおり <input type="checkbox"/> 助成対象水田 共通事項のとおり <input type="checkbox"/> 助成対象作物 共通事項のとおり <input type="checkbox"/> その他要件 自家加工販売や直売所で販売する場合は、自家加工販売計画書兼出荷・販売報告書により確認				
備考					

※1 「活用枠」欄は該当する項目の口に ✓ (チェック) を付けてください。

※2 「分類」は、産地戦略枠を活用する場合、実施要綱別紙15の2 (6) のア、イ、ウのいずれに該当するか口に ✓ (チェック) を付けてください。

※3 「参考となる単価」は、単価を設定する上で参考とした前年度単価又は前々年度単価のいずれかを記載してください。

新規		前年度継続(変更あり)		前年度継続	○	助成開始年度	H27
----	--	-------------	--	-------	---	--------	-----

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	岩美町農業再生協議会	整理番号	6
活用枠※1	<input type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input checked="" type="checkbox"/> 従来枠 <input type="checkbox"/> 追加配分枠	分類※2	<input type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ
使途	振興作物助成		
対象作物	ブロッコリー・小豆・アスパラガス(基幹作)		
単価	16,000 円/10a (上限: 20,000 円/10a)	参考となる単価※3	20,000 円/10a
内容	対象作物を作付し、出荷・販売する農家等に、作付面積に応じて助成する。		
具体的要件	<input type="checkbox"/> 助成対象者 対象作物を作付し、出荷・販売する農家等 <input type="checkbox"/> 助成対象水田 共通事項のとおり <input type="checkbox"/> 助成対象作物 ブロッコリー・小豆・アスパラガス(基幹作) <input type="checkbox"/> その他要件 ・販売すること <input type="checkbox"/> ・1圃場につき1回の助成		
確認方法	<input type="checkbox"/> 助成対象者 共通事項のとおり <input type="checkbox"/> 助成対象水田 共通事項のとおり <input type="checkbox"/> 助成対象作物 共通事項のとおり <input type="checkbox"/> その他要件 販売伝票等による		
備考			

※1 「活用枠」欄は該当する項目の口に ✓ (チェック) を付けてください。

※2 「分類」は、産地戦略枠を活用する場合、実施要綱別紙15の2 (6) のア、イ、ウのいずれに該当するか口に ✓ (チェック) を付けてください。

※3 「参考となる単価」は、単価を設定する上で参考とした前年度単価又は前々年度単価のいずれかを記載してください。

新規		前年度継続(変更あり)		前年度継続	○	助成開始年度	H27
----	--	-------------	--	-------	---	--------	-----

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	岩美町農業再生協議会	整理番号	7
活用枠※1	<input type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input checked="" type="checkbox"/> 従来枠 <input type="checkbox"/> 追加配分枠	分類※2	<input type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ
用途	地区振興作物助成		
対象作物	さといも・マコモタケ・こんにゃく(基幹作)		
単価	16,000 円/10a (上限: 20,000 円/10a)	参考となる単価※3	20,000 円/10a
内容	対象作物を作付し、出荷・販売する農家等に、作付面積に応じて助成する。		
具体的要件	<input type="checkbox"/> 助成対象者 対象作物を作付し、出荷・販売する農家等 <input type="checkbox"/> 助成対象水田 共通事項のとおり <input type="checkbox"/> 助成対象作物 さといも・マコモタケ・こんにゃく(基幹作) <input type="checkbox"/> その他要件 ・販売すること <input type="checkbox"/> ・1圃場につき1回の助成		
確認方法	<input type="checkbox"/> 助成対象者 共通事項のとおり <input type="checkbox"/> 助成対象水田 共通事項のとおり <input type="checkbox"/> 助成対象作物 共通事項のとおり <input type="checkbox"/> その他要件 販売伝票等による		
備考			

※1 「活用枠」欄は該当する項目の口に ✓ (チェック) を付けてください。

※2 「分類」は、産地戦略枠を活用する場合、実施要綱別紙15の2 (6) のア、イ、ウのいずれに該当するか口に ✓ (チェック) を付けてください。

※3 「参考となる単価」は、単価を設定する上で参考とした前年度単価又は前々年度単価のいずれかを記載してください。



新規		前年度継続(変更あり)		前年度継続	○	助成開始年度	H27
----	--	-------------	--	-------	---	--------	-----

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	岩美町農業再生協議会	整理番号	8
活用枠※1	<input type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input checked="" type="checkbox"/> 従来枠 <input type="checkbox"/> 追加配分枠	分類※2	<input type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ
用途	一般作物助成		
対象作物	H29産地交付金一覧(岩美町)に掲げる一般作物(基幹作)		
単価	8,800 円/10a (上限: 11,000 円/10a)	参考となる単価※3	11,000 円/10a
内容	対象作物を作付し、出荷・販売する農家等に、作付面積に応じて助成する。		
具体的要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 助成対象者 対象作物を作付し、出荷・販売する農家等</li> <li>○ 助成対象水田 共通事項のとおり</li> <li>○ 助成対象作物 H29産地交付金一覧(岩美町)に掲げる一般作物(基幹作)</li> <li>○ その他要件 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 販売すること</li> <li>・ 1圃場につき1回の助成</li> </ul> </li> </ul>		
確認方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 助成対象者 共通事項のとおり</li> <li>○ 助成対象水田 共通事項のとおり</li> <li>○ 助成対象作物 共通事項のとおり</li> <li>○ その他要件 販売伝票等による</li> </ul>		
備考	そもそも重複無し的前提です。標記は必要なのでしょうか。		

※1 「活用枠」欄は該当する項目の口に ✓ (チェック) を付けてください。

※2 「分類」は、産地戦略枠を活用する場合、実施要綱別紙15の2 (6) のア、イ、ウのいずれに該当するか口に ✓ (チェック) を付けてください。

※3 「参考となる単価」は、単価を設定する上で参考とした前年度単価又は前々年度単価のいずれかを記載してください。

新規		前年度継続(変更あり)		前年度継続	○	助成開始年度	H27
----	--	-------------	--	-------	---	--------	-----

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	岩美町農業再生協議会	整理番号	9
活用枠※1	<input type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input checked="" type="checkbox"/> 従来枠 <input type="checkbox"/> 追加配分枠	分類※2	<input type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ
用途	地力増進、景観形成作物助成		
対象作物	H29産地交付金一覧(岩美町)に掲げる地力増進、景観形成作物(基幹作)		
単価	6,000 円/10a (上限: 7,500 円/10a)	参考となる単価※3	7,500 円/10a
内容	対象作物を作付する農家等に、作付面積に応じて助成する。		
具体的要件	<p>○ 助成対象者 対象作物を作付する農家等</p> <p>○ 助成対象水田 共通事項のとおり</p> <p>○ 助成対象作物 H29産地交付金一覧(岩美町)に掲げる地力増進、景観形成作物(基幹作)</p> <p>○ その他要件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地力増進作物については鋤きこむこと</li> <li>・ 景観形成作物については適切な管理を行うこと</li> <li>・ 1圃場につき1回の助成</li> </ul>		
確認方法	<p>○ 助成対象者 共通事項のとおり</p> <p>○ 助成対象水田 共通事項のとおり</p> <p>○ 助成対象作物 共通事項のとおり</p> <p>○ その他要件 作業日誌、現地確認、種子購入伝票等による</p>		
備考			

※1 「活用枠」欄は該当する項目の口に ✓ (チェック) を付けてください。

※2 「分類」は、産地戦略枠を活用する場合、実施要綱別紙15の2 (6) のア、イ、ウのいずれに該当するか口に ✓ (チェック) を付けてください。

※3 「参考となる単価」は、単価を設定する上で参考とした前年度単価又は前々年度単価のいずれかを記載してください。

新規		前年度継続(変更あり)		前年度継続	○	助成開始年度	H27
----	--	-------------	--	-------	---	--------	-----

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	岩美町農業再生協議会	整理番号	10
活用枠※1	<input type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input type="checkbox"/> 従来枠 <input checked="" type="checkbox"/> 追加配分枠	分類※2	<input type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ
使途	多収品種助成		
対象作物	飼料用米(基幹作)		
単価	12,000 円/10a (上限: 12,000 円/10a)	参考となる単価※3	12,000 円/10a
内容	対象作物を多収品種で取り組み、出荷・販売する農家等に、作付面積に応じて助成する。		
具体的要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 助成対象者 対象作物を作付し、出荷・販売する農家等</li> <li>○ 助成対象水田 共通事項のとおり</li> <li>○ 助成対象作物 需要に応じた米生産の推進に関する要領別紙4の第4の規定による多収品種</li> <li>○ その他要件 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 需要に応じた米生産の推進に関する要領別紙4の第5の規定による取組計画の認定を受けていること</li> <li>・ 1圃場につき1回の助成</li> </ul> </li> </ul>		
確認方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 助成対象者 共通事項のとおり</li> <li>○ 助成対象水田 共通事項のとおり</li> <li>○ 助成対象作物 種子又は苗供給伝票等による</li> <li>○ その他要件 需要に応じた米生産の推進に関する要領別紙4の第6の規定による生産集出荷数量一覧表等による</li> </ul>		
備考			

※1 「活用枠」欄は該当する項目の口に ✓ (チェック) を付けてください。

※2 「分類」は、産地戦略枠を活用する場合、実施要綱別紙15の2 (6) のア、イ、ウのいずれに該当するか口に ✓ (チェック) を付けてください。

※3 「参考となる単価」は、単価を設定する上で参考とした前年度単価又は前々年度単価のいずれかを記載してください。

新規		前年度継続(変更あり)		前年度継続	○	助成開始年度	H27
----	--	-------------	--	-------	---	--------	-----

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	岩美町農業再生協議会	整理番号	11
活用枠※1	<input type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input type="checkbox"/> 従来枠 <input checked="" type="checkbox"/> 追加配分枠	分類※2	<input type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ
用途	備蓄米助成		
対象作物	備蓄米(基幹作)		
単価	7,500 円/10a (上限: 7,500 円/10a)	参考となる単価※3	7,500 円/10a
内容	対象作物を作付し、備蓄米として出荷・販売する農家等に、作付面積に応じて助成する。		
具体的要件	<input type="checkbox"/> 助成対象者 対象作物を作付し、出荷・販売する農家等 <input type="checkbox"/> 助成対象水田 共通事項のとおり <input type="checkbox"/> 助成対象作物 備蓄米(基幹作) <input type="checkbox"/> その他要件 ・ 備蓄米として出荷・販売すること ・ 1圃場につき1回の助成		
確認方法	<input type="checkbox"/> 助成対象者 共通事項のとおり <input type="checkbox"/> 助成対象水田 共通事項のとおり <input type="checkbox"/> 助成対象作物 共通事項のとおり <input type="checkbox"/> その他要件 個人別出荷台帳等		
備考			

※1 「活用枠」欄は該当する項目の口に ✓ (チェック) を付けてください。

※2 「分類」は、産地戦略枠を活用する場合、実施要綱別紙15の2 (6) のア、イ、ウのいずれに該当するか口に ✓ (チェック) を付けてください。

※3 「参考となる単価」は、単価を設定する上で参考とした前年度単価又は前々年度単価のいずれかを記載してください。

新規		前年度継続(変更あり)		前年度継続	○	助成開始年度	H27
----	--	-------------	--	-------	---	--------	-----

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	岩美町農業再生協議会	整理番号	12
活用枠※1	<input type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input type="checkbox"/> 従来枠 <input checked="" type="checkbox"/> 追加配分枠	分類※2	<input type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ
用途	そば作付取組助成		
対象作物	そば(基幹作)		
単価	20,000 円/10a (上限: 20,000 円/10a)	参考となる単価※3	20,000 円/10a
内容	対象作物を作付し、出荷・販売する農家等に、作付面積に応じて助成する。		
具体的要件	<input type="checkbox"/> 助成対象者 対象作物を作付し、出荷・販売する農家等 <input type="checkbox"/> 助成対象水田 共通事項のとおり <input type="checkbox"/> 助成対象作物 そば(基幹作) <input type="checkbox"/> その他要件 出荷・販売契約を締結し、販売すること		
確認方法	<input type="checkbox"/> 助成対象者 共通事項のとおり <input type="checkbox"/> 助成対象水田 共通事項のとおり <input type="checkbox"/> 助成対象作物 共通事項のとおり <input type="checkbox"/> その他要件 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出荷・販売等に関する契約書の写し</li> <li>・ 水田台帳、販売実績、現地確認等による</li> </ul>		
備考			

※1 「活用枠」欄は該当する項目の口に ✓ (チェック) を付けてください。

※2 「分類」は、産地戦略枠を活用する場合、実施要綱別紙15の2 (6) のア、イ、ウのいずれに該当するか口に ✓ (チェック) を付けてください。

※3 「参考となる単価」は、単価を設定する上で参考とした前年度単価又は前々年度単価のいずれかを記載してください。

(別表1)飼料供給協定に含まれるべき事項

資源循環(WCS用稲生産水田への堆肥散布の取組)

- (1) 取組の内容
- (2) 供給される飼料作物の種類
- (3) 飼料作物を生産する者
- (4) 堆肥を散布する者
- (5) ほ場の場所及び面積
- (6) 堆肥の散布時期及び量
- (7) 利用供給協定締結期間
- (8) 堆肥散布の条件(作業分担及び品代・経費の負担)
- (9) その他必要な事項

## H29 産地交付金一覧 (岩美町)

販売用等作物		単価(円/10a)	配分枠	
重点振興作物①	白ねぎ	24,000円 (上限: 30,000円)	産地戦略枠	
重点振興作物②	ハトムギ (担い手農家)	24,800円 (上限: 31,000円)	産地戦略枠	
		23,200円 (上限: 29,000円)		
振興作物	ブロッコリー 小豆 アスパラガス	16,000円 (上限: 20,000円)	従来枠	
地区振興作物	さといも マコモタケ こんにゃく	16,000円 (上限: 20,000円)	従来枠	
一般作物	野菜	きゅうり とまと なす ピーマン かぼちゃ いちご	8,800円 (上限: 11,000円)	従来枠
		すいか メロン キャベツ はくさい ほうれんそう ねぎ		
		たまねぎ レタス だいこん にんじん みょうが しょうが		
		枝豆 さやいんげん ばれいしょ かんしょ とうがらし 未成熟とうもろこし		
		にんにく やまのいも パプリカ れんこん 中国野菜(チンゲンサイ等)		
		その他野菜		
	豆類・雑穀類	そら豆 落花生 その他豆類(大豆・小豆を除く) その他雑穀		
	花き	きく ストック てっぼうユリ トルコキキョウ りんどう その他花き		
	苗類	花壇苗 球根 種苗類(野菜・花)		
	山菜	たらの芽 うど その他山菜		
その他	はま茶			
地力増進作物	地力れんげ 地カソルガム 地カイタリアンライグラス 地力青刈りとうもろこし その他地力増進作物	6,000円 (上限: 7,500円)	従来枠	
景観形成作物	景観形成作物(れんげ・ひまわり・コスモス等)			
担い手栽培加算	大豆(1ha以上の作付)	4,400円 (上限: 5,500円)	産地戦略枠	
	飼料用米(1ha以上の作付)			
耕畜連携助成(資源循環)	WCS用稲	10,400円 (上限: 13,000円)	産地戦略枠	
麦二毛作助成	二条大麦 六条大麦 小麦	12,000円 (上限: 15,000円)	産地戦略枠	
作付取組助成	そば(基幹作)	20,000円 (上限: 20,000円)	追加配分枠	
多収品種助成	飼料用米(日本晴)	12,000円 (上限: 12,000円)	追加配分枠	
備蓄米	備蓄米(コシヒカリ・ひとめぼれ・きぬむすめ)	7,500円 (上限: 7,500円)	追加配分枠	

※ 二毛作助成については、主食用米、戦略作物助成の対象作物、又はそば、なたねとの組み合わせが対象です。

※ 交付単価は、増減する場合があります。

※ 一般作物の「その他野菜」「その他雑穀」には上記の各振興作物の品目及び、畑作物の直接支払交付金の対象作物(麦、大豆、そば、なたね)は含まれません。

### ◇ 岩美町農業再生協議会

事務局 岩美町役場 〒681-0003 岩美町浦富675番地1 TEL:0857-73-1562  
JA鳥取いなば岩美支店 〒681-0065 岩美町新井339番地1 TEL:0857-72-1524